

地域と学校の協働通信

令和3年11月5日
武蔵野市教育委員会
指導課教育推進室
第6号

学校・家庭・地域の協働体制の検討がスタートしました

検討委員会の概要

「武蔵野市学校・家庭・地域の協働体制検討委員会」が令和3年10月13日に設置されました。

検討委員会では学校運営における学校、家庭（保護者）、地域住民の連携・協働や、学習指導要領の基本理念である「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて、より主体的に協議できる体制づくりや、地域と学校が目標を共有して連携・協働する持続可能な体制づくりなどについて検討を行います。

委員は学校、家庭（保護者）、地域それぞれの関係者や学識経験者などが務めます。



検討の背景

複雑化する社会情勢・・・

近年の急激な社会変化に伴い、学校・家庭・地域のそれぞれが、複雑化・多様化する課題と向き合っています。さらに変化の激しい、予測困難な時代を生きていくことになる子どもたちには、こうした様々な変化と積極的に向き合い、他者と協働して課題を解決していく力などを身に付けていくことが求められます。

しかし、学校の抱える課題も複雑化・困難化する中で、学校の工夫だけにこうした役割をゆだねることは難しく、学校と地域相互の連携・協働のもとに、一体となって子どもたちの成長を支えていくことが必要です。



検討委員会の資料や議事録は、ホームページでも公開される予定ですので、ぜひご注目ください。

学習指導要領にも・・・

「社会に開かれた教育課程」を基本理念とする学習指導要領も、「未来の創り手となる子どもたちに求められる資質・能力を学校と家庭と地域が共有し、子どもの成長を連携して支えていくこと」を目指しています。

こうした社会的背景を受けて・・・

本市の「第六期長期計画」や「第三期武蔵野市学校教育計画」にも、学校運営における学校、保護者、地域住民の連携・協働や、より主体的に協議できる体制づくり、地域と学校が目標を共有して連携・協働する持続可能な体制づくりに向けた検討を行うことなどが記載されています。

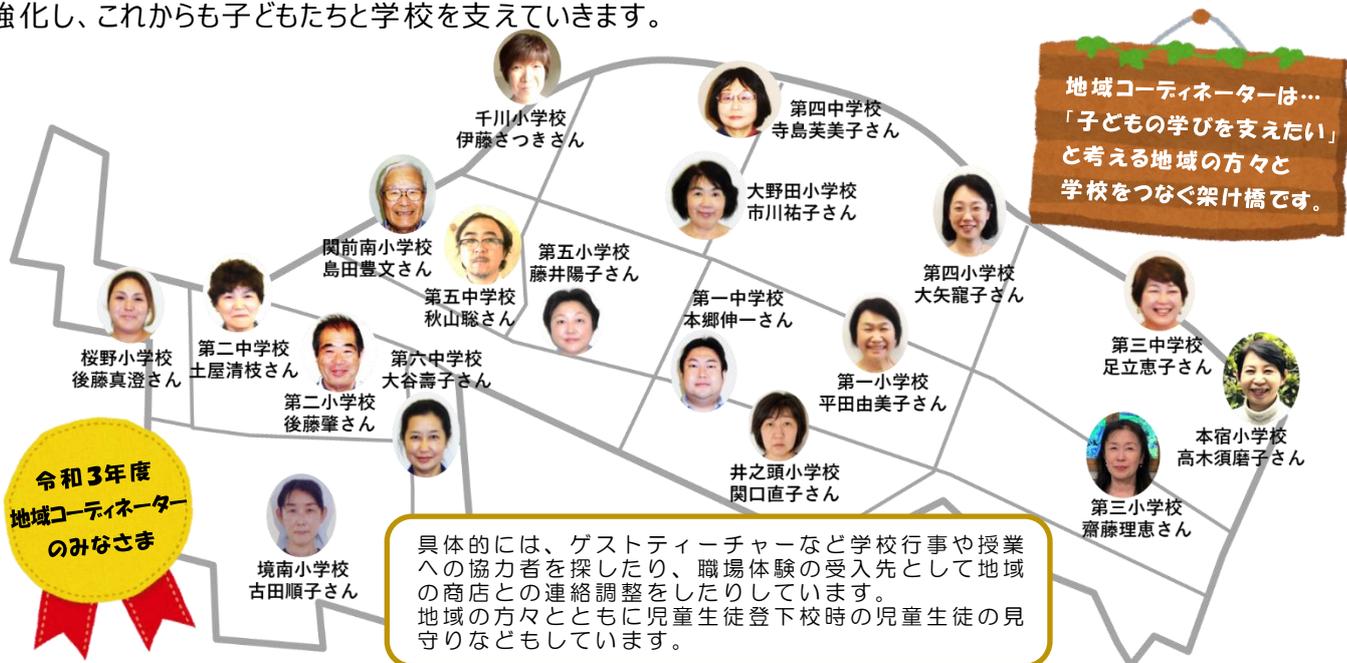
検討スケジュール

令和3年度から令和4年度にかけて計8回の検討を行い、教育委員会に報告するための答申を作成します。

日程	内容
令和3年10月13日（水）	第1回委員会（委員会の検討事項について等）
11月8日（月）	第2回委員会（検討課題について協議）
12月16日（木）	第3回委員会（検討課題について協議）
令和4年1月27日（木）	第4回委員会（検討課題について協議）
5月（予定）	第5回委員会（検討課題について協議）
7月（予定）	第6回委員会（中間まとめ確定）
8月（予定）	中間まとめに対するパブリックコメント
10月（予定）	第7回委員会（パブリックコメント確認等）
12月（予定）	第8回委員会（答申確定）
令和5年1月（予定）	教育委員会へ答申

『地域コーディネーター』制度開始から5年を迎えて…

平成 28 年 4 月より「地域コーディネーター」を各校に 1 名ずつ配置(委嘱)してから、5 年が経ちました。この制度の目的は、「開かれた学校づくり協議会」や P T A、地域の団体等と協力しながら、学校支援人材に関する学校への情報提供と、その連絡調整を行うことで、学校の副校長や教員の負担軽減を図り、地域と連携した学校教育を推進していくことです。感染症対策等の新たな課題による連携の難しさはありますが、市内の地域コーディネーターが集まる連絡会などにより、地域コーディネーター同士のネットワークも強化し、これからも子どもたちと学校を支えていきます。



知ってる？ 『学校支援協力者リスト』



市では「学校教育に関心のある方で、特技や趣味を生かして児童・生徒への指導や学校への協力をしていただける方」を募集し、『学校支援協力者リスト』を作成しています。リストは市内の市立小中学校及び地域コーディネーターに配布しています。

リスト登録者数はのべ 102 名(R3.10 現在)。「学習(教科)補助」「部活動補助」「ゲストティーチャー」のカテゴリで分かれており、授業等のニーズに応じた人材を検索できるようになっています。「協力可能な分野」に加え、「連絡先」「対応可能地域・日時」「活動実績」などの情報が掲載されています。希望に合う方がいた場合には、直接ご本人との連絡が可能です。

貴重な経験をお持ちの方も多数登録いただいています。学校教育に協力していただける方の人材探しで困ったら、ぜひ「学校支援協力者リスト」を活用してみてください。

登録カテゴリ(例)

学習(教科)補助	部活動補助	ゲストティーチャー
国語、社会、算数、理科、書道、美術、体育、技術、家庭科、英語、道徳、音楽 等	陸上、野球、サッカー、バスケットボール、卓球、テニス 等	講演・ワークショップ(投資、プログラミング、うどん作り、平和教育、社会保障 等)、スポーツ・武道・ダンス、自然・歴史 等